

## (2) 産業・交流

郷土の恵みを活かした「にぎわい」と「憩い」を感じられるまち

## 第1節 産業が元気で活力あるまち（産業振興）

### 1 農業

【農林課】

- (1) 農地の集約化
- (2) 担い手育成と生産体制整備
- (3) 有害鳥獣対策
- (4) 農業を身边に感じる環境・機会の創出
- (5) クリーン農業等の推進

#### ●現状・課題

我が国においては、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより耕作放棄地が増加しています。本町においても少子高齢化の急速な進行による農業就業者の高齢化をはじめ、担い手及び労働力の確保・育成が必要となっています。

本町における担い手への農地の利用権設定は、令和2年(2020年)3月時点で44.8%となっています。国の掲げる今後5年間で担い手の農地利用を全農地の8割とする目標を達成するために、今後は人と農地の問題解決に向けた「人・農地プラン」の推進や農地中間管理機構との連携による農地の集積・集約化を引き続き推進する必要があります。

また、作業の省力化、労働時間の短縮により経営体制を強化するため、ICT技術を活用したスマート農業の推進が求められています。

近年は、シカ、イノシシ、カラス、サル等による農作物被害により、農業所得の減少や労働意欲が低下していることから、町と地域が一体となって被害防止を図る必要があります。

町全体の農地を地域活性化資源と捉え、農地として守っていくことと都市化を図ることを整理したうえで、町の基幹産業である農業の活性化や、新たな魅力の創出を目指して、民間活力導入による観光農園・産業振興施設の検討・整備が必要とされています。

#### ●関連計画

- 大野町農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 大野農業振興地域整備計画
- 大野町農業基本計画
- 人・農地プラン

#### ●主要施策

##### (1) 農地の集約化

◇農地の集積・集約化と優良農地の保全を図るために、いび川農業協同組合や農地中間管理機構と連携した取り組みを進めるとともに、利用権設定に関する普及啓発を図ります。

##### <主要事業>

- 利用権設定に関する普及啓発
- 耕作放棄地の解消及び農地の集積・集約化 ②

##### (2) 担い手育成と生産体制整備

◇生産者組織の再編や地域営農組織の法人化も含め、地域の中核となる担い手を確保しつつ、就農補助金やスマート農業等の設備導入補助金の活用等、農業の担い手が一人でも多く意欲を持って就農できる環境づくりを進めます。また、農業の担い手を育成し、新規就農者の参入を確保します。

◇6次産業化に向けて、関係機関と連携しながら研修会を開催するなど取り組む農家を支援します。

- 新規就農の参入促進
- 担い手・認定農業者の確保・育成 ②
- 地域営農組織の法人化による生産組織の強化・再編
- 6次産業化に向けた支援 ②
- 農業基盤整備の推進 ②

●主要施策	<主要事業>
(3) 有害鳥獣対策 ◇有害鳥獣対策に関する町民と行政の役割を明確にし、被害防止対策マニュアル等を活用しながら情報提供を行い、鳥獣を寄せ付けない集落環境づくりの取り組みについて普及・啓発及び被害防止対策を実施します。	○有害鳥獣対策に係る普及・啓発 ○鳥獣捕獲・駆除における助成の検討 ○捕獲等を町民自らが行う取り組みの拡大
(4) 農業を身近に感じる環境・機会の創出 ◇道の駅「パレットピアおおの」を利活用するとともに、農業体験イベントの開催や関係機関と連携した取り組みを進めるなど、農業を身近に感じられる機会の創出を図ります。 ◇町全体の農地を地域活性化資源と捉え、関係機関と連携し、優良な農地を活かした民間活力導入による観光農園等の整備を推進します。	○道の駅「パレットピアおおの」における農産物直売施設への支援 8 ○農業が持つ多面的機能への取り組み ○農業を活かした「新たな魅力の創出」を図る観光農園・産業振興施設整備の検討 5
(5) クリーン農業等の推進 ◇有機物等を有効に活用した土づくり並びに環境への負荷の大きい化学肥料、化学合成農薬等を節減し、環境にやさしい農業を推進します。	○ぎふクリーン農業等による環境への負荷軽減の推進(有機農産物の生産促進) OGAP や HACCP 等の認証取得に向けた支援 2

●目標指標	単位	現状値	実績値	目標値
		H26 (2014)	R1 (2019)	R6 (2024)
① 担い手への農地の利用集積	%	29.5	44.8	55.0
② 認定農業者数	経営体	27	45	49
③ 地元の農産物を購入するようにしている町民の割合	%	51.5	49.5	60.0
④ 優良農地面積	ha	1,200	1,170	1,130
⑤ おおのブランド野菜の認定数	品種	—	0	5
⑥ 農作物の被害額の減少	千円	—	2,628	2,365
⑦ GAP 及び HACCP 等の認証件数	件	—	0	1

●協働のまちづくりの考え方
新たな農業従事者を発掘します。

期待される役割	行政	大野町の「農業」に関するPR、6次産業化支援制度等の充実
	住民	大野町産物に対する地産地消の推進、農業環境（農地）の維持・保全への協力
	地域・団体	農業生産者団体等の強化
	その他	いび川農業協同組合の協力体制

## 第1節 産業が元気で活力あるまち（産業振興）

### 2 商・工業

- (1) 商工業者の活性化
- (2) 商工業地区の整備
- (3) 企業誘致の促進

【観光企業誘致課、建設課、農林課】

#### ●現状・課題

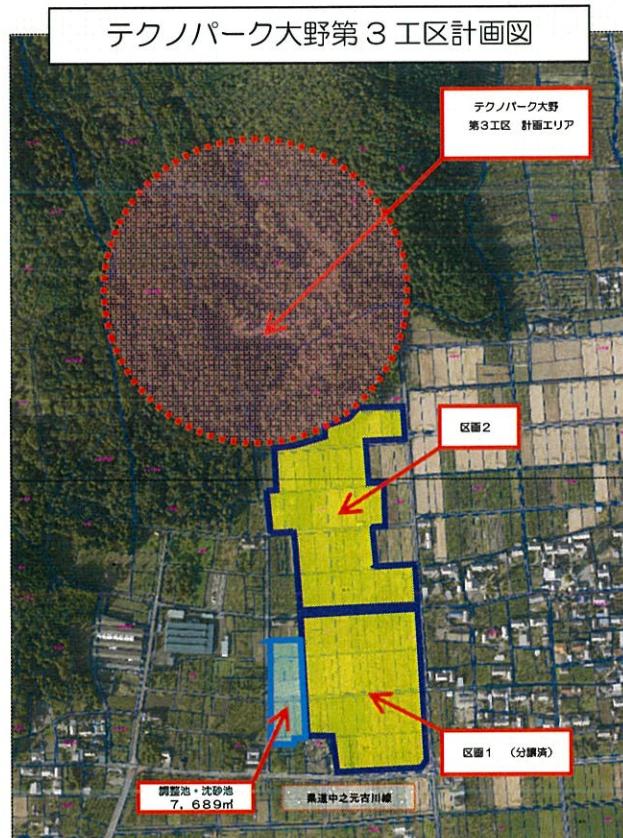
本町の商業は、主に小売店舗経営者の高齢化や後継者の課題があり、多様化する消費者ニーズ等に十分対応できなくなっています。近隣市へ大型店が進出するなど消費者の流れも大きく変化しており、商店街の商業活動の衰退が見られます。一方、最近では、一部の事業者が新商品の開発や掘り起こしを行うなど、独自の魅力を発信し活性化が図られているところもあります。

さらに、平成30年（2018年）7月に道の駅「パレットピアおおの」が開駅したこと、事業者が加工品やお土産品を手軽に販売することが可能となりました。

令和元年（2019年）12月には、大野神戸I

Cが開通し、これらと一体的な市街地整備により魅力ある拠点形成と主要幹線沿いを中心とした商業地域を集積し、商業の活性化が求められます。

工業面では、以前より大野町工場誘致条例に基づき、奨励措置による企業誘致を進めてきましたが、近隣市町との地域間競争も厳しく、町内に企業が進出しやすい環境を整えるため、大野町企業立地促進条例を制定し、産業の振興、雇用の拡大を図っています。テクノパーク大野や大野神戸I C周辺地域を中心に、積極的に優良企業の誘致を図り、就業機会の確保、町民所得の向上に努め、活気あふれるまちづくりを進めていく必要があります。



●主要施策		<主要事業>
(1) 商工業者の活性化		<ul style="list-style-type: none"> <li>○商品開発、販売促進への支援</li> <li>○農商工連携の強化に向けた取り組み</li> </ul>
<p>◇商工業者の活性化を図るため、町商工会と連携して新商品の開発や掘り起こしなど魅力創出に向けた取り組みを検討するとともに、道の駅「パレットピアおおの」等での販売を目指します。</p> <p>◇活性化を図るために商品開発など意欲のある商工業者への支援を推進します。</p> <p>◇商工など町内各産業の横の連携強化や広域的な連携の強化を図ります。</p>		
(2) 商工業地区の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>○主要幹線沿いにおける物流拠点・商業施設の整備に対する適正な指導・誘導</li> <li>○大野神戸IC周辺整備検討・推進 4 5 8</li> <li>○テクノパーク大野第3工区整備促進 5</li> <li>○関係機関と連携した企業誘致活動の展開 5</li> </ul>
(3) 企業誘致の促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○大野町企業立地促進条例に基づく奨励金制度の活用を推進し、積極的な優良企業の誘致に努めます。</li> </ul>

●目標指標	単位	現状値	実績値	目標値
		H24/H26 (2012/2014)	H28/R1 (2016/2019)	R6 (2024)
① 大野町企業立地促進条例に基づく奨励金措置を受けた事業所数	事業所	3	8	12
② 小売業の年間商品販売額	百万円	(H24) 15,909	(H28) 16,336	16,000※

※令和3年度（2021年度）実施予定の「経済センサス活動調査」を想定した目標値

●協働のまちづくりの考え方	
農商工など町内各産業の横の連携を強化するとともに、広域的な連携を強化します。	
期待される役割	行政 6次産業化支援策等のPR、支援策の充実
	住民 地元事業所、地場産物の購入
	地域・団体 近隣諸都市との連携の展開
	その他 事業者連携による商品開発等の展開

## 第2節 多様な交流が活発なまち（観光・交流）

### 1 観光・交流

【観光企業誘致課、建設課、政策財政課、生涯学習課】

- (1) 観光ネットワークの構築
- (2) 観光拠点・観光施設の整備・充実
- (3) 観光推進体制の強化
- (4) 特產品の開発・販売促進
- (5) 景観に配慮したわかりやすいサイン整備の推進
- (6) 自治体交流の推進

#### ●現状・課題

本町には、揖斐川、根尾川の清き水と北部山麓に広がる緑の美しい山並みなどの豊かな自然や有形無形文化財などの歴史的遺産が数多く点在しています。

町や町観光協会では、バラ公園や運動公園をはじめとした公園整備、バラまつりや根尾川花火大会、大野まつり等各種観光イベントの開催、広域的な観光イベントのPRなどに取り組んでいます。また、町の特產品「大野の太鼓判」認定支援については、町内事業者の積極的な取り組みにより、令和元年度（2019年度）末現在で19点と5年間で17点増加しました。

以前よりバラ公園以外の集客性の高いスポットが不在というお声もいただいておりましたが、平成30年（2018年）7月に道の駅「パレットピアおおの」が開駅し約50万人（開駅から1年間のレジカウント数）の来場を記録しました。

その結果、岐阜県観光入込客統計調査によると、観光客数は平成26年（2014年）の298,501人から平成30年（2018年）には562,310人と大幅に増加しました。

今後は、道の駅「パレットピアおおの」を拠点とし、全国有数のバラ苗生産地として多くの方が訪れるバラ公園の再整備や、旧北岡田家住宅、史跡野古墳群等の歴史・文化遺産といった地域資源を活用した回遊性の高い観光ルートづくり、近隣市町と連携した広域的観光ネットワークの開拓を進めるとともに、既存の観光イベントの見直しを行うなど、更なる観光客の誘致、賑わいの創出に向けた取り組みが求められています。また、観光客だけでなく日常生活の中で施設を利用する幼児・高齢者・障がい者に対してもやさしい施設整備などハード、ソフト面において、多様化する観光ニーズへの対応が求められています。

#### ●主要施策

##### （1）観光ネットワークの構築

- ◇観光ニーズの多様化を踏まえ、イベント、歴史、自然、伝統文化を活かした西美濃圏域を中心とした広域的観光ルートの開拓を進めます。
- ◇町内の主要な観光施設においても、相互の連携や回遊性の向上、町外施設との連携による魅力向上などを図ります。
- ◇森林散策路を中心に史跡野古墳群や旧北岡田家住宅などの文化遺産を活用した回遊性の高い町内観光ルートの開拓を進めます。

#### ＜主要事業＞

- 広域的観光ルート（西美濃夢源回廊等）の開拓 4 6
- 町内観光施設の回遊性向上・観光ルート・散策モデルコースづくり
- 観光情報発信の充実 4 8
- 名鉄廃線敷の活用 3

●主要施策	<主要事業>
<p>◇道の駅「パレットピアおおの」をはじめ、インターネット等の各種媒体を活用し、観光情報発信の充実を図ります。</p> <p>◇名鉄廃線敷をサイクリングロードなど観光資源として活用します。</p>	
<b>(2) 観光拠点・観光施設の整備・充実</b>	<p>○道の駅「パレットピアおおの」を中心とした観光拠点整備 <b>4 8</b></p> <p>○駐車場整備</p> <p>○温泉施設の整備検討</p>
<p>◇道の駅「パレットピアおおの」の整備をはじめ、町の魅力を活かした観光拠点、観光施設の整備・充実を進めます。また、IC開通等の影響による道の駅「パレットピアおおの」などの来場者数の推移を見極めながら駐車場整備の検討をします。</p>	
<b>(3) 観光推進体制の強化</b>	<p>○観光資源の発掘及び既存資源のブラッシュアップ</p> <p>○観光協会組織の見直し</p>
<p>◇町の新たな観光資源の発掘や既存する観光資源をもう一度再認識し、地域の魅力充実を図ります。</p> <p>◇将来的な観光協会の自立に向けた検討を行いながら、段階的にイベントの外部化や統廃合などの見直し、観光案内所の設置等を検討・推進していきます。</p>	
<b>(4) 特產品の開発・販売促進</b>	<p>○「大野の太鼓判」特產品認定事業（個店の魅力化促進） <b>2 4</b></p>
<p>◇特產品「大野の太鼓判」の認定を行うなど、町の地域資源を活かした魅力ある特產品の開発を支援します。また、特產品の周知・販売促進についても支援を充実します。</p>	
<b>(5) 景観に配慮したわかりやすいサイン整備の推進</b>	<p>○大野町サイン整備事業</p>
<p>◇町内の主要な交通結節点や観光施設等において、ユニバーサルデザインに配慮したわかりやすく大野町の魅力を発信する案内サイン等の整備を推進します。</p>	
<b>(6) 自治体交流の推進</b>	<p>○フラワー都市交流連絡協議会等の交流自治体との連携強化 <b>2 4</b></p>
◇行政課題への対応や地域振興などを図るため、友好都市等の他自治体間との連携を推進します。	

●目標指標	単位	現状値	実績値	目標値
		H26 (2014)	R1 (2019)	R6 (2024)
① 特產品「大野の太鼓判」認定商品数（累計）	点	2	19	20
② 町外からの来訪者に紹介したい・自慢したい場所・観光スポットがある町民の割合	%	24.1	26.6	30.0
③ 観光入込客数（町全体）	人	298,501	700,000※	750,000

※令和元年度岐阜県観光入込客統計調査見込値

●協働のまちづくりの考え方	
町民参加による特產品の開発やイベントの見直し、アドバイザーの活用を推進します。	
期待される役割	行政 大野町の特産物や特產品のPR及び企業と企業のマッチングの推進 町民やイベント参加者のニーズを勘案した段階的なイベントの見直し
	住民 大野町の特産物に対する再認識、身近な特產品の掘り起こし イベントへの主体的な参加
	地域・団体 特產品販売、開発等に関するイベント主催等による参画
	その他 地場産材を活かした商品開発支援

